

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

ふれあいの丘自然観察館 夏のイベント情報

暑い夏、カブトムシ・クワガタのシーズン到来！
自然観察館に行って、カブトムシやクワガタとたっぷり遊ぼう！！

「世界のカブト・クワガタ展」

7月8日(土)～9月3日(日)

日本では、なかなか見ることができない世界のカブトムシやクワガタを15種類以上展示するほか、「ふれあいコーナー」を設置し、自由にカブトムシやクワガタと遊ぶことができます。世界最大のカブトムシであるヘラクレスオオカブトムシにも触れることができます。カブトムシやクワガタに直に触れ、間近に観察したり自由に遊んだりすることができるので、親子では是非お越しください。

○開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時まで)

○休館日 「世界のカブト・クワガタ展」開催中は、7月10日(月)、8月28日(月)のみ休館

○入館料 大人：200円 小中学生：100円
未就学児：無料 ※団体料金あり

○問合せ 大田原市ふれあいの丘 自然観察館
TEL：0287-28-3251



文化芸術鑑賞教室

6月10日(土)に那須中央中学校の土曜授業として、那須町文化協会による文化芸術鑑賞教室が開催されました。芸術発表では、6つの専門部の方々にそれぞれ10分ほどの発表をして頂きました。

郷土芸能部によるお囃子や、邦楽部による大正琴の演奏、民謡部では民謡の披露の他に津軽三味線や尺八、太鼓等の楽器の紹介がありました。また、日本舞踊部、舞踊部では、祝い事に因んだ舞が披露され、吟詠剣詩舞部では4名の発表があり、その中には那須中央中学校の在校生による発表もありました。

発表後は、舞踊部部長の音頭により「那須町民の歌」を全員で歌い、ステージ上では舞踊部の皆さんに「那須町民の歌の踊り」を踊って頂きました。

生徒達にとっては、普段の授業では体験できない、地域に根差した伝統芸能を鑑賞する機会となりました。



イベントのお知らせ

○那須塩原市教育講演会が開催されました

7月1日(土)、那須塩原市黒磯文化会館にて、教育講演会が開催されました。今年度は、ピアニスト辻井伸行氏の母で、ラジオパーソナリティの辻井いつ子さんを講師にお迎えし、「子供の才能の見つけ方、伸ばし方～明るく、楽しく、あきらめない～」と題して講演いただきました。

市内小中学校、義務教育学校の児童・生徒の保護者の方をはじめ、小さなお子さんを持つお父さん、お母さん、さらにはおじいちゃん、おばあちゃん世代の方々まで約700人が来場し、辻井さんのお話に熱心に耳を傾けていました。保護者の方のアンケートでは、

「子供の成長がとても楽しみに前向きになりました。」「子育てのヒントをたくさんいただきました。」などの感想が寄せられました。



○創作劇「那須野の大地」公演のお知らせ

日時：9月17日(日)

場所：那須塩原市三島ホール

※入場整理券が必要で

お問い合わせ：那須塩原市生涯学習課

(電話 0287-37-5364)

「ふれあい人権の集い」開催

6月15日(木)、大田原市ピアートホールを会場に、那須地区人権教育指導者一般研修「ふれあい人権の集い」を開催しました。

研修Ⅰでは、平成28年度栃木県教育委員会人権に関する作文において入賞された児童生徒3名による作文発表を行いました。どの作品も大変すばらしい内容で、堂々と発表することができました。

研修Ⅱでは、「子供の健やかな成長を目指して」～震災から見た様々な課題～を演題に、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター こども支援部門 特任教授 本多 環 氏を講師として、講演を行いました。震災から6年が経過しても、今なお課題が山積している現状と、子供たちの支援を通して人権とは何かを、大変分かりやすく話して頂きました。参加者からは、「震災被害を受けた子だけでなく、全ての子供への支援に当てはまる内容で、参考になりました。」「人権とは居場所づくりで、親としてできることをしっかり子供にしていきたい」と思います。」などの感想が寄せられました。親として、教員として、地域の大人として何をすべきか、それぞれの立場で考える貴重な機会となりました。

